

松浦武四郎記念館 企画展示

幕末を
たどる
武四郎

世に黒ホウ云モノ是れ日本ノ人ニ非ズ
下人ヲ、オランダ人、買取テ名々ノ使、者トスル
熱國ニ故其甚黒色ニ、又船毎ニ各アリ或ハ
トイン或ハスタアニス或、ホイスストスベキ杯ト云々日本ニ何九ト名
カ如、板其船ニ載来ルモノハ砂糖、蘇木、羅紗、天鷲織、奥嶋、海
本、杏、阿茶、子、山、飯、来、胡椒、又硝子、巻、目、鏡、其外、珍巻、奇鳥、歌、
良料ニ、牛、豚、雞、鶩、ノ類、各、数、百、千、ヲ、載、ス、亦、日、本、ヨリ、積、取、ル、物、ハ、銅、百、万
定式トシテ、其外、傘、磁、漆、漆、器、銅、鏡、銅、銭、小、間、物、類、織、物、類、ノ、食、物、ニ、ハ
枚、子、粕、漬、ノ、大、根、諸、葉、ノ、漬、物、又、各、数、百、千、ヲ、積、メ、其、船、九、十、万、斤、ヲ、愛、板、其、國、船
今年迄五千四百二年ニテ、阿蘭陀ト云号ヲ立シ國主ヨリ今年迄千七百七十六年
今年迄五千四百二年ニテ、阿蘭陀ト云号ヲ立シ國主ヨリ今年迄千七百七十六年
今年迄五千四百二年ニテ、阿蘭陀ト云号ヲ立シ國主ヨリ今年迄千七百七十六年

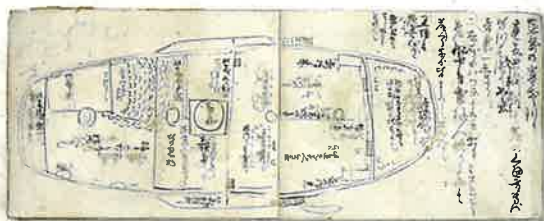
其食物ハブロードトテ小麥ノ粉ヲ餅ニ造テ、又食ヲ世ニバント云モノ是れ其外
青梁ノ物ヲ好、又生薑、葡萄ヲ多食ス、其國、日本ヲ去リ、日本
三千里、其中、日本ヨリ、呱哇、三千里、呱哇ヨリ、フランタ、ハ、万里
毎年、日本、来、テ、フランタ、人、本、國、ヨリ、来、ル、ニ、非、ス、皆、呱哇、ヨリ、来、リ、呱
ララシ、グ、ヨリ、押、領、シ、タル、國、ニ、テ、出、張、ノ、城、アル、所、ヲ、バ、ダ、ア、ヒ、ヤ、ト、云
紅毛、館、ヲ、出、島、ト、云、カ、カ、シ、ハ、ハ、日、本、ノ、三、百、三、十、七、年、ニ、テ、
是、ヲ、定、
其、甚、壯、大、ハ、ハ、大、村、ヲ、用、テ、
月、組、ヲ、打、合、セ、
包、
丈、八、
帆、柱、都、
キ、九、丈、八、寸、都、テ、帆、數、十、七、
數、十、二、四、面、ニ、テ、三、十、余、
三、貫、目、ノ、
余、人、ノ、
ニ、シ、ス、
父、人、ノ、其、
風、俗、ハ、又、下、人、中、
世、に、黒、ホ、ウ、云、モノ、是、れ、本、國、ノ、人、ニ、非、ズ、
下、人、ヲ、オ、ラ、ン、ダ、人、買、取、テ、名、々、ノ、使、者、ト、ス、ル、
熱、國、ニ、故、其、甚、黒、色、ニ、又、船、毎、ニ、各、ア、リ、或、ハ、
ト、イ、ン、或、ハ、ス、タ、ア、ニ、ス、或、ホ、イ、ス、ト、ス、ベ、キ、杯、ト、云、々、日、本、ニ、何、九、ト、名、
カ、如、板、其、船、ニ、載、来、ル、モノ、ハ、砂、糖、蘇、木、羅、紗、天、鷲、織、奥、嶋、海、
本、杏、阿、茶、子、山、飯、来、胡、椒、又、硝、子、巻、目、鏡、其、外、珍、巻、奇、鳥、歌、
良、料、ニ、牛、豚、雞、鶩、ノ、類、各、数、百、千、ヲ、載、ス、亦、日、本、ヨ、リ、積、取、ル、物、ハ、銅、百、万、
定、式、ト、シ、テ、其、外、傘、磁、漆、漆、器、銅、鏡、銅、銭、小、間、物、類、織、物、類、ノ、食、物、ニ、ハ、
枚、子、粕、漬、ノ、大、根、諸、葉、ノ、漬、物、又、各、数、百、千、ヲ、積、メ、其、船、九、十、万、斤、ヲ、愛、板、其、國、船、
今、年、迄、五、千、四、百、二、年、ニ、テ、阿、蘭、陀、ト、云、号、ヲ、立、シ、國、主、ヨ、リ、今、年、迄、千、七、百、七、十、六、年、
今、年、迄、五、千、四、百、二、年、ニ、テ、阿、蘭、陀、ト、云、号、ヲ、立、シ、國、主、ヨ、リ、今、年、迄、千、七、百、七、十、六、年、
今、年、迄、五、千、四、百、二、年、ニ、テ、阿、蘭、陀、ト、云、号、ヲ、立、シ、國、主、ヨ、リ、今、年、迄、千、七、百、七、十、六、年、



林子平著 阿蘭陀船回 天明2年(1782)刊

激動の時代を生き抜いた
武四郎の足跡をたどる

令和8年 (2026) 6.26(金) ▶ 9.6(日)



松浦武四郎筆「豆遣日誌」より 嘉永7年(1854)【伊豆下田で黒船シシビ号に乗り平面図を記す】

幕末期の日本は、鎖国から開国へと動き出す歴史の一大転換期でした。開国と通商を求めて諸外国が相次いで来航する中で、国を守るために幕府中心の政治から天皇中心の政治に戻し、一致団結して外国を追い払う「尊王攘夷」の思想に多くの志士たちが影響を受けました。

その中で松浦武四郎は、ロシア外交の最前線にあたる蝦夷地(北海道)を踏査し、その様子を志士たちに伝え、情報ネットワークを築きます。

この展示では、武四郎が志士たちと交流し、自らも志士として活動した姿を紹介します。

背景：田崎草堂筆「薩化成図」鈴木算湖筆「割国表図」いずれも嘉永4年(1851)

幕末を 生きた武四郎

松浦武四郎記念館 企画展示



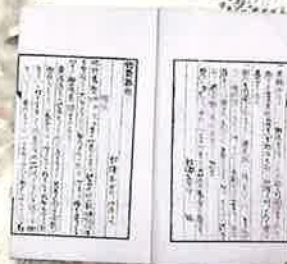
松浦武四郎筆「奥地行自入用品申上書」安政3年(1856)【北蝦夷地(サハリン)中部に伊勢神宮、熱田神宮の勧請を計画】



松浦武四郎筆「松浦武四郎書翰」嘉永4年(1851)6月18日付【大鶴の玉が鳥居交い障に包まれる中で死ぬ覚悟です】



坂本龍馬宛「吉田松陰書翰」嘉永6年(1853)9月5日付(部分)【松浦武四郎「おやぢ」先生のお考えをお聞かせください】



松浦武四郎著「竹島誌」明治3年(1870)【竹島(現在の鬱陵島)の地理を紹介】

自由研究を応援します!

記念館・誕生地の写真撮り放題!
在席する学芸員に質問し放題!
記念館ホールに
参考図書を用意。
※必要なコピーはお一人10枚まで無料。



8月4日(火)~9日(日)限定
松浦武四郎誕生地を描こう!

画用紙をお一人2枚まで提供!
※絵を描く道具とお茶などはご持参ください。
※18歳以下は誕生地が入館無料です。

小中学生応援企画

夏休みは
松浦武四郎記念館
に行こう!

開催期間:7月18日(土)~8月30日(日)

証解きクイズラリー
たけちゃんからの挑戦状!

記念館の展示室内で
クイズを探して答えると、
正解者全員に
記念品プレゼント!



武四郎 講座

毎月第2日曜日
午前10時~
好評開催中!

会場 当館
多目的室

定員 60名

申込方法 申込不要
先着順に受付

参加費 110円
(資料代)

※入館料をお支払いの方は無料。

武四郎の
江戸での生活その2
講師:世古 詩央里 (当館 学芸員)

第208回
7月12日(日)
午前
10時~11時

武四郎の
第1回蝦夷地調査報告書
「初航蝦夷日誌」を読む
講師:佐藤 圭祐 (当館 学芸員)

第209回
8月9日(日)
午前
10時~11時

展示担当学芸員による
展示解説

日時 7月12日(日)・8月9日(日)
いずれも11時~12時

場所 企画展示室
※予約不要、入館料のみで参加可。

武四郎まつりマスコットキャラクター
たけちゃん



ご利用案内

- 開館時間** 午前9時00分から午後4時30分まで
- 休館日** 毎週月曜日・8月12日(水)
7月20日(月・祝)は開館して翌7月21日(火)は休館。
- 入館料** 19歳以上...360円[230円]/6歳以上18歳以下...230円[120円]
就学前の子どもは無料、お得な年間パスポートあり。
※松浦武四郎誕生地は18歳以下無料 ※【】内は20名以上の団体料金。
- 交通案内**



- <電車・バスで>
近鉄
・【伊勢中川駅東口】からタクシーで約7分
三雲地域コミュニティバス「たけちゃんハートバス」(9人乗り)を運行
バス停【松浦武四郎記念館】下車すぐ。
JR・近鉄
・【津駅前(東口)】から三交バス「天白」行き、バス停【小野江】下車
国道23号 小野江町交差点を西へ徒歩約13分
<お車で>
※無料駐車場完備(乗用車50台まで駐車可能)。
・伊勢自動車道
【久居IC】・【一志郷IC】から車で各15分
国道23号
【小野江町交差点】を西へ約1km
・中勢バイパス(国道23号)
【郷野新屋庄ランプ】から車で3分

